



# 『東北圏だより』

「第6回おでかけ交通博 2019in はちのへ」を開催しました！

東北運輸局

東北運輸局では、令和元年10月18日（金）に八戸グランドホテルにおいて「第6回おでかけ交通博 2019in はちのへ～みんなで「おでかけの足」を考えませんか～」を開催しました。（共催：八戸市 協力：福島大学）

「おでかけ交通博」は、主に地方公共団体の交通担当者や交通事業者を対象として、喫緊の課題である地域の「おでかけの足」について考えるきっかけとするべく平成27年より開始し、今回で6回目（過去開催は福島、弘前、山形、北上、秋田）の開催となり、約160名の方に参加いただきました。

午前中は「トークセッション with 東北仕事人」と称し、開催地域の交通やまちづくりに携わる方々と有識者にご登壇いただき、パネルディスカッションを行いました。福島大学・吉田准教授にコーディネーターを務めていただき、パネリストとしては、開催地からは共催の八戸市役所とDMOである一般財団法人 VISIT はちのへ、また同じ八戸圏域市町村から五戸町役場と階上町役場、そして東北地方で活躍されている有識者で「地域公共交通東北仕事人」であるNPO法人岩手地域づくり支援センターの若菜氏よりご発言をいただきました。



▲【パネルディスカッションの様子】

午後には自治体や交通事業者などの22団体に出展いただき、ポスターセッションを実施しました。各団体から1分間で取組をPRしていただき、その後、取組をまとめたポスターや資料により、それぞれの取組について説明いただきました。参加者は興味関心のある団体の取組について、担当者より詳細を伺いながら意見交換を行いました。



▲【ポスターセッションの様子】

また、翌日 19 日（土）にはエクスカーションを開催し、希望者で企画乗車券「みんなで八戸 1Dayバス」を活用した八戸市内の視察を行いました。あいにくの雨により当初の予定を変更しながらの行程となりましたが、八戸まちなか広場マチニワを八戸市営バスで出発し、陸奥湊地区では八戸市営魚菜小売市場などを視察、最終的には JR 八戸線から八食 100 円バス（南部バス）を乗り継ぎ、八食センターで解散となりました。



▲【視察で立ち寄った八戸市営魚菜小売市場】



▲【JR 八戸駅から八食センターへ】

今年も多数の方に参加いただきました。次年度以降においても、地域の交通への取組を後押しする機会を提供していきます。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。  
メールアドレス：[thr-kou-suishin2@mlit.go.jp](mailto:thr-kou-suishin2@mlit.go.jp)